

街並み修景フォーラム

“生きた街並み”から育む盛岡アイデンティティ@大慈寺地区

2026年

2月8日(日) 14時～17時

・もりおか町家物語館 浜藤ホール
(岩手県盛岡市鉤屋町10-8)

・入場無料 定員50名(要申込)



盛岡市大慈寺地区の歴史的街並み保存活用の取組のこれまで・今・これからの可能性を共に見つけ・語り合う

- 大慈寺地区景観地区重点保存地区(鉤屋町・大慈寺町界隈)における歴史的街並み保存活用／NPO法人盛岡まち並み塾、盛岡市
- 建物修景・改修活用の事例発表：「旧和田酒店」の保存活用を3つの視点からひもとく 所有・創造・営みのリレー」
／三田農林株式会社 代表取締役社長 三田 林太郎 氏、有限会社土創舎 澤口 泰俊 氏 他
- オープンクロストーク：「大慈寺地区の歴史的街並みが育む盛岡アイデンティティ」

盛岡の城下町の歴史風情と共に新しい風が流れるこの街の、
素晴らしさと可能性を再発見・新発見する会場の皆さんとのトークタイム。
“盛岡の魅力の価値”としての歴史的街並みの保存・活用についてを共に見つけ語り合しましょう。

【参加方法】 要事前申込：申込受付期間 2026年 1月18日(日) 10時 ～ 2月3日(火) 16時
お申し込み先：電話・FAX 019-656-1603 または申込フォーム(右記QRコード)から



街並み修景
フォーラム
FAX申込書

氏 名

住 所

電話番号

【お問合せ先】 特定非営利活動法人 盛岡まち並み塾 事務局

岩手県盛岡市鉤屋町3-15「大慈清水御休み処」内 / 営業時間：10時～16時(水曜定休)

TEL：019-656-1603 ホームページ：machinamijuku.org

主 催：盛岡市街並み保存活用推進協議会 共 催：特定非営利活動法人 盛岡まち並み塾



盛岡ま ち並み塾HP

街並み修景フォーラム “生きた街並み”から育む盛岡アイデンティティ@大慈寺地区

2026年2月8日(日) 14時~17時 「もりおか町家物語館」 浜藤ホール にて



本フォーラムは、歴史的街並みの保存活用をテーマに、盛岡市大慈寺地区景観地区重点保存地区における、住民等と盛岡市の協働によるこれまでの歩みや、市民・事業者による修景・利活用事例を紹介するとともに、来場者とのオープン・クロストークを実施します。

市民、事業者による事例の紹介では、「旧「和田酒店」」の建物を主な題材として、建物の所有者、建物改修に携わる技術者、建物での事業運営者の3つの視点から建物活用の所有・創造・営みのリレーについて取り上げます。

現在、地域には世代を超えた好循環が生まれており、先人たちが築いてきた街への誇りを受け継ぐように、移住者や次代を担う層の間にも確かな価値認識が育まれています。ここに暮らす人々の丁寧な日々の積み重ねにより、大切に現代へ引き継がれ、活き続ける街の魅力を再確認すること、あわせて、歴史的街並みの保存活用が、盛岡ブランドとしての「暮らし文化」を育む意義を共有し、次代に向けたまちづくりの可能性を共に描き出します。この街に暮らす皆さん、この街が気になる皆さん、この街のこれからに繋がる、こまでと、今を共に見つめ語り合しましょう。

<盛岡市大慈寺地区>

江戸から明治期にかけて北上川舟運の起点として栄え、街道が交わる城下の「南の玄関口」として発展してきました。今もなお、街道沿いの商家であった「盛岡町家」や舟運時代の蔵、自然風土が育む緑と清水(共同井戸)、そして原蔵や米内光政などの先人ゆかりの寺院群など、往時の面影を色濃く残す街並みが残っています。城下町の風情の中に人々の丁寧な暮らしが息づいている、「盛岡らしさ」が溢れる市内でも貴重な地域です。

◆ アクセス

※盛岡駅から

バスで約15分または徒歩で約40分

※盛岡バスセンターから

バスで約3分または徒歩で約10分

◆ 公共交通機関のご案内

盛岡駅東口13、14番バス乗り場より

岩手県交通「矢巾営業所」、「日詰駅前」に乗り、

「南大通二丁目」バス停下車、徒歩3分



【お問合せ先】 特定非営利活動法人 盛岡まち並み塾 事務局

岩手県盛岡市鉾屋町3-15「大慈清水御休み処」内 / 営業時間：10時~16時(水曜定休)

TEL: 019-656-1603 ホームページ: machinamijuku.org

主 催: 盛岡市街並み保存活用推進協議会 共 催: 特定非営利活動法人 盛岡まち並み塾



盛岡ま ち並み塾HP